

十
12

5

9220-1

150

I-0520



電信課長

大臣

次官

③

東亞 歐亞 米洲 通商 條約 情報 文書 調查 人典 儀典 文書 會計 秘書官

寫送先

分類 2,2,0,1

老總内侍

外務省

記録件名 各國神祠及寺院千俣雜件

昭和15 五五四一〇 (暗)

新京 六月二十一日後發 儀、亞
本省 二十一日夜着

有田外務大臣

梅津大使

第二五七號

滿洲國皇帝陛下ニ於カレテハ豫テヨリ滿洲國國神廟ヲ創建セラレ其ノ御祭神ニハ滿洲建國ノ本義ニ基キ天照大神ヲ建國ノ元神ト崇メ奉祀セラレ又其ノ攝廟ニハ建國ノ聖業ニ殉シタル者ノ英靈ヲ祀ルノ御内意アリタル處今同御訪問ヲ機トシ右御宿願ヲ實現セラルルコトトナリタル趣ヲ以テ今般張國務總理大臣ヨリ本使ニ對シ右思召ヲ通報越スト共ニ滿洲國政府ニ於テハ右準備ニ付萬遺漏無キヲ期シ居ルモ事極メテ重大ナル爲諸般ノ配慮ヲ得タキ旨依頼越シタリ委細郵報スヘキモ不取敢(了)

S

9220-1

151

④

I-0520

0175

儀典課長
備員課長

別紙添附

公機密第七二六號

昭和十五年六月二十一日

在滿

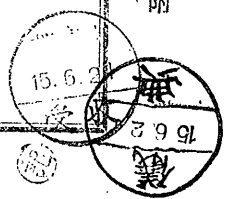
特命全權大使 梅津 美治郎

外務大臣 有田 八郎 殿

建國神廟御創建ニ關スル件

本件ニ關シテハ既電ノ通ナル處六月二十一日附張國務總理發本使宛公文寫及總務廳作成本件要綱別添送付ス委細右ニ依リ細了知相成度此段申進ス

航空
次官
東亞局長
第二課長



在滿帝國大使館

日本標準規格

9220-1

152

寫

外文秘第一八七號

康徳七年六月二十一日

滿洲帝國

國務總理大臣 張 景 惠

滿洲帝國駐劄

大日本帝國特命全權大使 梅津 美治郎 閣下

以書翰啓上致候陳者

皇帝陛下ニオカセラレテハ今次皇紀二千六百年御慶祝ノ爲御訪日遊ハサルルヲ機トシ國體ヲ明徴シ特ニ其ノ根基トシテ日滿不可分關係ヲ闡明シ以テ國家政教ノ源泉ヲ確立シ國家意識ノ向上ヲ圖ル爲建國神廟ヲ創建セラレ其ノ御祭神ニハ滿洲建國ノ本義ニ鑑ミ天照大神ヲ建國ノ元神ト崇メ奉祀セラレ又建國神廟ノ攝廟ニ建國ノ聖業ニ殉シタル者ノ靈位ヲ祀ルノ御意ヲ拜シ候ヲ以テ茲ニ本大臣ハ右思召ヲ閣下ニ傳達致候

在滿帝國大使館

日本標準規格



9220-1

153

I-0520

尙政府ニ於テハ右建國神廟及其ノ攝廟御創建ノ思召ヲ奉シ概ネ別
記要録ニ依リ之カ籌備ニ萬遺漏無キヲ期シ居候モ事極メテ重大ナ
ル爲籌備上諸般ノ事項ニ關シテハ特ニ御高配ヲ得度及御依頼候
右申進旁本大臣ハ茲ニ重ネテ閣下ニ向テ敬意ヲ表シ候

敬具

在滿帝國大使館

日本標準規格



S220-1

154

I-0520

0100

要
領
記

- (一) 建國神廟ニハ建國ノ元神ト崇メ奉リテ天照大神ヲ奉祀シ差當リ帝宮内ニ奉安ス將來新京附近ニ適當ナル土地ヲ相シテ奉遷ス
 - (二) 建國神廟ノ攝廟ハ建國忠靈廟ト稱ス建國忠靈廟ニハ建國ノ聖業ニ殉シタル者ノ靈位ヲ奉祀シ新京南嶺ニ於ケル廟屋ニ奉安ス
 - (三) 建國神廟祭祀令及建國忠靈廟祭祀令ヲ制定ス
 - (四) 建國神廟及其ノ攝廟タル建國忠靈廟ニ關スル事項ヲ管掌スル爲官制ヲ以テ祭祀府ヲ設置ス
- 祭祀府ハ皇帝ニ直屬ス但シ事務的便宜上、人事、豫算及營繕等ニ關シテハ國務院（總務廳）ト一部聯關ヲ有セシムルモノトス

在滿帝國大使館

日本標準規格 B S 9220-1 155

備
考

- (五) 建國神廟鎮座祭式典ハ康德七年七月十五日皇帝陛下御親祭ニ依リ執リ行ハセラレ建國忠靈廟鎮座祭式典ハ康德七年九月十九日舉行セラレ皇帝陛下御親拜遊ハサルル御豫定ナリ
- 祭祀ハ國務ノ外ニ獨立シ祭祀府總裁勅旨ヲ承ケテ之ヲ行フ即チ總裁ハ常置承祭官タリ
- 祭祀府ハ將來地方ニ建國忠靈廟ノ分廟設置ノ場合其ノ管轄ヲモ豫想ス
- 建國神廟ノ祭祀ハ天照大神ヲ滿洲建國ノ元神ト崇メ奉祀スルモノナレハ滿洲帝國ノ祭祀ニシテ日本帝國ノ神社行政ノ範圍ニ屬セサルモノトス同様ノ趣旨ニヨリ其ノ攝廟タル建國忠靈廟ニ於ケル殉國ノ靈位ノ奉祀ハ日本側ノ神社行政及忠靈顯彰事業トハ別個ノモノトス

以上

在滿帝國大使館

日本標準規格 B S 9220-1 155

I-0520

極秘

要旨

建國神廟御創建籌備ニ關スル件

(庚七五)
總務廳

皇帝陛下ニオカセラレテハ豫テヨリ建國ノ本義ニ鑑ミ、國體ヲ明
徴シ、特ニ其ノ根基トシテ日滿一體不可分關係ヲ闡明シ、以テ國家
政教ノ源泉ヲ確立シ、國民ノ國家意識ヲ鞏化スル爲

滿洲建國ノ元神トシテ 天照大神ヲ奉祀シ、尙其ノ攝廟ニ建國
ノ聖業ニ殉ジタル者ノ靈位ヲ祀ルノ御意アリタル處、今次皇紀二千
六百年御慶祝ノ爲御訪日遊ハサルルヲ機トシ、右御宿願ヲ實現セラ
レテ、

天照大神ヲ奉祀スル建國神廟及其ノ攝廟ヲ創建セララルル思召ヲ拜
ス。

惟フニ今ヤ建國八年ヲ閱シ、國內治安略定アリ、民生徐ロニ復興
シ、民心漸ク安定ノ域ニ達セムトス、更ニ近ク建國十周年ヲ迎フル
ニ際シ、一面建國創業ノ偉績ヲ回顧贊仰スルト共ニ他面進デ建國ノ
本義ヲ顯揚シ愈々國體ヲ明徴シ、國基ヲ確立シテ一段ノ國勢發展ヲ

圖ルベキ時期ニ到達シアリ、日本帝國亦今年皇紀二千六百年ヲ迎ヘ
且支那事變ノ處理ニ關聯シテ不動ノ大陸政策ヲ確立シ、其ノ根基タ
ル日滿不可分ノ關係ヲ一層鞏化堅持シ、滿洲帝國ノ健全ナル發達ヲ
益々支援セムトスル秋ニ當レリ、

茲ニ建國神廟及其ノ攝廟御創建ノ思召ヲ奉ジ、之ガ籌備ニ萬遺憾
無キヲ期セムトス。

二 要 領

- (一) 建國神廟ニハ建國ノ元神トシテ 天照大神ヲ奉祀シ、差當リ
帝宮内ニ奉安スルモ、將來新京附近ニ適當ナル土地ヲ相シテ奉
遷ス。
- (二) 建國神廟ノ攝廟ハ建國忠靈廟ト稱ス。
建國忠靈廟ニハ建國ノ聖業ニ殉ジタル者ノ靈位ヲ奉祀シ現ニ略
々竣工セル南嶺廟屋ニ奉安ス。
- (三) 建國神廟祭祀令及建國忠靈廟祭祀令ヲ制定ス。

S 9220-1

S 9220-1

I-0520

(四) 建國神廟及其ノ攝廟タル建國忠靈廟^{ニ新スルイ}祭^{ニ新スルイ}祀^{ニ新スルイ}及^{ニ新スルイ}管理^{ヲ掌スル}ヲ^{官制}爲^ス官制

ヲ以テ祭祀^{ヲ設ク}ヲ設ク。

祭祀^ハ國務^{大臣}總理^{大臣}ニ^直管^理ニ^屬ス。

祭祀^ハ祭祀^總總裁^{勅旨}ヲ^奉ケテ^之ヲ^行フ。

祭祀^ハ將來^{地方}ニ^{建國忠靈廟}ノ^{分廟}設置^ノ場合^其ノ^{管轄}ヲ^モ豫^想ス。

(五) 建國神廟鎮座祭式典ハ康德七年七月中旬、

皇帝御親祭ニ依リ執リ行ハセラレ、建國忠靈廟鎮座祭式典ハ康

德七年九月中旬舉行セラレ、皇帝御親拜遊ハサルル御豫定ナ

三備考

(一) 建國神廟ノ祭祀ハ天照大神ヲ滿洲建國ノ元神トシテ奉祀スル

モノナレバ、滿洲帝國ノ祭祀ニシテ日本帝國ノ神社行政ノ範圍ニ

屬セザルモノトス。同様ノ趣旨ニヨリ其ノ攝廟タル建國忠靈廟ニ



於ケル殉國ノ靈位ノ奉祀ハ日本側ノ神社行政及忠靈顯彰事業トハ別個ノモノトス。

(二) 建國神廟ニ關スル新聞雜誌等ノ記事ハ滿洲日本共ニ當局發表ノ外ノ以外ハ掲載方禁止シアリ。



I-0520

公 信 案	外 務 省	計 成 度 此 段 申 進 候 也 (別紙格津大使兼電官高取添付、リ)

日本標準規格 B S 9220-1 162

大
作
次
官

發信用務用	王	1	2
	附	甲	1
乙			
丙			
丁			
備考	12201		

東亞局長
第二課長
秘書長
文書課長

昭和十五年六月廿六日發送済

主 管	文書課發送日	昭和十五年六月廿六日發送済	淨書	昭和十五年六月二十四日起草
機 密	機密	第四十二號	昭 和 年	昭 和 年 六 月 廿 六 日
職 名	內閣總理大臣	有田大臣	附 屬	別紙

件名 滿洲國國神廟創建(附二件)

電報有之候條、詳細右ニテ御了解、上一可也一御取

日本標準規格 B S 9220-1 161

I-0520

秘

昭和15 五五四一〇

(暗)

新京 六月二十一日後發
本省 二十一日夜着

(儀。重)

有田外務大臣



梅澤大使

(第二五七號)

電信寫

滿洲國皇帝陛下ニ於カテハ豫テヨリ滿洲國神廟ヲ創建セラレ其
ノ御祭神ニハ滿洲建國ノ本義ニ基キ天照大神ヲ建國ノ元神ト崇メ奉
祀セラレ又其ノ攝廟ニハ建國ノ聖業ニ殉シタル者ノ英靈ヲ祀ルノ御
内意アリタル處今(回)御訪問ヲ機トシ右御宿願ヲ實現セララルコトト
ナリタル趣ヲ以テ今般張國務總理大臣ヨリ本使ニ對シ右思召ヲ通報
越スト共ニ滿洲國政府ニ於テハ右準備ニ付萬遺漏無キヲ期シ居ルモ
事極メテ重大ナル爲諸般ノ配慮ヲ得タキ旨依頼越シタリ委細郵報ス
ヘキモ不取敢テ

S 9220-1

163

I-0520

0182

機密

儀機密第二八八號
 昭和十五年六月二十五日
 外務次官 谷 正之
 官内次官 男爵白根 公介 殿
 滿洲國建國神廟創建ニ關スル件
 本件ニ關シ外務大臣ヨリ別紙寫ノ通總理大臣宛通牒相成候間石茲
 ニ及移候也

外務省

日本標準規格



9220-1

165

主信	/		
附甲	/		
乙	/		
丙			
丁			
備考			

懸案

文書課發送日 昭和拾五年六月廿六日發送濟	主 管 機 密 第 二 八 八 號 昭 和 拾 五 年 六 月 廿 五 日 附 屬	受 信 人 名 白 根 宮 内 次 官	先 付 送 寫	發 信 人 名 谷 正 之	記 録 件 名	件 名 滿 洲 國 建 國 神 廟 創 建 ニ 關 ス ル 件
淨書	正校(原稿)	(淨書)				
昭和十五年六月二十五日起草						

別紙添附

日本標準規格



9220-1

164

別紙

I-0520

機密

儀機密第四七二號

昭和十五年六月二十五日

外務大臣 有田 八郎

内閣總理大臣 米 内 光 政 殿

滿洲國建國神廟創建ニ關スル件

本件ニ關シ今般別紙寫ノ進在滿海津大使ヨリ電報有之候條委細右ニテ御了知ノ上可然御取計相成度此段申進候也

外務省

日本標準規格B 9220-1 166

寫

有田外務大臣

新京 六月二十一日後發
本旨 二十一日夜着

海津大使

滿洲國皇帝陛下ニ於カセラレテハ像ヲヨリ滿洲國建國神廟ヲ創建セラレ其ノ御祭神ニハ滿洲建國ノ本義ニ基キ天照大神ヲ建國ノ元神ト崇メ奉祀セラレ又其ノ廟廟ニハ建國ノ聖業ニ殉ンタル者ノ英靈ヲ祀ルノ御内意アリタル處今般御訪問ヲ儀トシ右御宿願ヲ實現セラルルコトトナリタル趣ヲ以テ張國務總理大臣ヨリ本使ニ對シ右恩召ヲ遵報越スト共ニ滿洲國政府ニ於テハ右準備ニ付萬遺漏無キヲ期シ店ルモ事極メテ重大ナルニ鑑ミ諸般ノ配慮ヲ待タキ旨依頼越シタリ委細郵報スヘキモ不取電報ス

外務省

日本標準規格 9220-1 167

I-0520

0134



9220-1

168

2/7/1940

閣下
 一 閣下は、この
 一 閣下は、この
 一 閣下は、この
 一 閣下は、この

外務省

I-0520

009

發信用		執務用	
主信			
附屬	甲		
	乙		
	丙		
	丁		
備考			

大 臣
 次 官
 東 亞 局 長
 第三課長
 第二課長
 第一課長
 總 務 課

公 信 案	名 件	名 人 信 受	管 主
	滿洲國建國神廟創建ニ關シ閣議稟請ノ件	米 内 内閣總理大臣 宛	文書課發送
外 務 省	本件ニ關シ別紙ノ通及請議備聞可然御取計相成度此段申進候也	昭 和 拾 五 年 六 月 廿 九 日 附 屬 附 録	任 主
	閣議決定相成様致度此段及	米内内閣總理大臣 宛	淨書
		昭 和 拾 五 年 六 月 廿 七 日 起 草	正校(原稿)
		有 兒 田 内 務 大 臣	(淨書)
		烟 兒 田 内 務 大 臣	
		陸 軍 大 臣	

文書課長

昭 和 拾 五 年 六 月 廿 九 日

昭 和 拾 五 年 六 月 廿 七 日 起 草

淨書

正校(原稿)

(淨書)

S 9220-1 169



内閣總理大臣	閣議決定相成様致度此段及
内務大臣	閣議決定相成様致度此段及
陸軍大臣	閣議決定相成様致度此段及
神社局長	閣議決定相成様致度此段及

昭 和 拾 五 年 六 月 廿 九 日

内務省

日本標準規格B5

昭和十五年六月廿九日

I-0520

案

別紙滿洲國駐劄梅津大使來信寫ノ通滿洲國
白皇帝陛下ニハ建國神廟ヲ創建セシ其ノ御教不
神ニ滿洲國建國ノ本義ニ鑑ミ天照大神ヲ建國
ノ元神トシテ崇メ奉祀セラル又其ノ攝廟トシテ建國忠
靈ニ廟ヲ創建セシル由古ノ趣ヲ以テ滿洲國政府
ニ於テハ籌備上諸般ノ事理ニ關シ特ニ我方ノ配位
ヲ求メ奉ルル處本件ハ事極メテ重大ニシテ之カ籌備

公
信
案

外
務
省

日本標準規格B5 9220-1 171

イニテハ其ノ制度ノ通商ノ如何等ハ帝國ニ影響
スル所非ルニモカリト認メラレニ付關係各者ニ於テ
十言初免ノ上萬遺條ナキ措置スルコトヲ
一後ニ
有關係ヲ請メ

公
信
案

外
務
省

日本標準規格B5 9220-1 172

I-0520

昭和十五年六月二十一日

在 滿

特命全權大使 梅 津 美治郎

外務大臣 有 田 八 郎 殿

建國神廟御創建ニ關スル件

本件ニ關シ六月二十一日附張國務總理發本使宛公文寫及總務廳作
成本件要綱別添送付ス委細右ニ依リ御了知相成度此段申進ス

ノ上可也



外務省

日本標準規格 B5 S 9220-1 173

外文祕第一八七號

康德七年六月二十一日

滿洲帝國

國務總理大臣

張

景

惠

滿洲帝國駐節

大日本帝國特命全權大使 梅 津 美治郎 閣下

以書翰啓上致候陳者

皇帝陛下ニオカセラレテハ今次皇紀二千六百年御慶祝ノ爲御訪日
遊ハサルルヲ機トシ國體ヲ明徴シ特ニ其ノ根基トシテ日滿不可分
關係ヲ闡明シ以テ國家政教ノ源泉ヲ確立シ國家意識ノ向上ヲ圖ル
爲建國神廟ヲ創建セラレ其ノ御祭神ニハ滿洲建國ノ本義ニ鑑ミ
天照大神ヲ建國ノ元神ト崇メ奉祀セラレ又建國神廟ノ攝廟ニ建國
ノ聖藥ニ殉シタル者ノ靈位ヲ祀ルノ御意ヲ拜シ候ヲ以テ茲ニ本大

外務省

日本標準規格 B S 9220-1 174

I-0520

臣ハ右思召ヲ閣下ニ傳達致候
尙政府ニ於テハ右建國神廟及其ノ攝廟御創建ノ思召ヲ奉シ概ネ別
記要領ニ依リ之カ籌備ニ萬遺漏無キヲ期シ居候モ事極メテ重大ナ
ル爲籌備上諸般ノ事項ニ關シテハ特ニ御高配ヲ得度及御依頼候
右申進旁本大臣ハ茲ニ重ネテ閣下ニ向テ敬意ヲ表シ候

敬具

外務省

日本標準規格



9220-1

175

I-0520



要領記

- (一) 建國神廟ニハ建國ノ元神ト崇メ奉リテ天照大神ヲ奉祀シ差當リ帝宮内ニ奉安ス
將來新京附近ニ適當ナル土地ヲ相シテ奉遷ス
- (二) 建國神廟ノ攝廟ハ建國忠靈廟ト稱ス
建國忠靈廟ニハ建國ノ聖業ニ殉シタル者ノ靈位ヲ奉祀シ新京南嶺ニ於ケル廟屋ニ奉安ス
- (三) 建國神廟祭祀令及建國忠靈廟祭祀令ヲ制定ス
- (四) 建國神廟及其ノ攝廟タル建國忠靈廟ニ關スル事項ヲ管掌スル爲官制ヲ以テ祭祀府ヲ設置ス
祭祀府ハ皇帝ニ直屬ス但シ事務的便宜上、人事、豫算及營繕等ニ關シテハ國務院(總務廳)ト一部聯關ヲ有セシムルモノトス
祭祀ハ國務ノ外ニ獨立シ祭祀府總裁勅旨ヲ承ケテ之ヲ行フ即チ

外務省

日本標準規格 B 9220-1

176

總裁ハ常置承祭官タリ
祭祀府ハ將來地方ニ建國忠靈廟ノ分廟設置ノ場合其ノ管轄ヲモ豫想ス

- (五) 建國神廟鎮座祭式典ハ康德七年七月十五日
皇帝陛下御親祭ニ依リ執リ行ハセラレ
- 建國忠靈廟鎮座祭式典ハ康德七年九月十九日舉行セラレ
皇帝陛下御親拜遊ハサルル御豫定ナリ

備考

建國神廟ノ祭祀ハ天照大神ヲ滿洲建國ノ元神ト崇メ奉祀スルモノナレハ滿洲帝國ノ祭祀ニシテ日本帝國ノ神社行政ノ範圍ニ屬セサルモノトス同様ノ趣旨ニヨリ其ノ攝廟タル建國忠靈廟ニ於ケル殉國ノ靈位ノ奉祀ハ日本側ノ神社行政及忠靈顯彰事業トハ別個ノモノトス

以上

外務省

日本標準規格 B 9220-1

177

總務廳長官事務官

I-0520

機密

右

儀機密第四八三號

昭和十五年六月二十八日

内閣總理大臣 米内光政

外務大臣 有田八郎

内務大臣 伯爵 兒玉秀雄

外務省

日本標準規格 B 9220-1 179

次官
東亞局長

第二課長
第三課長

内閣外甲第五五號

昭和十五年六月二十九日

内閣總理大臣 米内光政

内閣總理大臣 米内光政殿

外務大臣 有田八郎殿

内務大臣 伯爵 兒玉秀雄殿

陸軍大臣 畑俊六殿

指令

昭和十五年六月二十八日 儀機密第四八三號

滿洲國建國神廟創建ニ關スル件請議ノ通

内閣

9220-1 178

儀機密

昭和十五年七月壹日

儀機密 17-1 典

陸軍大臣 畑 俊六

内閣總理大臣 米内 光政 殿

滿洲國建國神廟創建ニ關シ閣議稟請ノ件

本件ニ關シ別紙案ノ通御決定相成様致度此段及請議候也

外務省

CH 標準規格



9220-1

180

案

別紙滿洲國駐劄梅津大使來信寫ノ通滿洲國皇帝陛下ニハ建國神廟ヲ創建セラレ其ノ御祭神ニハ滿洲國建國ノ本義ニ鑑ミ天照大神ヲ建國ノ元神ト崇メ奉祀セラレ又其ノ攝廟トシテ建國忠靈廟ヲ創建セララルル恩召ナル趣ヲ以テ滿洲國政府ニ於テハ籌備上諸般ノ事項ニ關シ特ニ我方ノ配慮ヲ求メ來レル處本件ハ事極メテ重大ニシテ之カ籌備ノ如何等ハ帝國ニ影響スル所渺カラサルモノアリト認メララルニ付關係各省ニ於テ十分研究ノ上萬遺憾ナキ様措置スルコトト致度シ



9220-1

181

I-0520

0192

昭和十五年六月二十一日

在滿

特命全權大使 梅津 美治郎

外務大臣 有田 八郎 殿

建國神廟御創建ニ關スル件

本件ニ關シ六月二十一日附張國務總理發本使宛公文寫及總務廳作成
本件要綱別添送付ス委細右ニ依リ御了知ノ上可然御取計相成度此段
申進ス

CH 本標準規格



9220-1

182

外務省

外文祕第一八七號

康德七年六月二十一日

滿洲帝國

國務總理大臣 張景惠

滿洲帝國駐劄

大日本帝國特命全權大使 梅津 美治郎 閣下

以書翰啓上致候陳者

皇帝陛下ニオカセラレテハ今次皇紀二千六百年御慶祝ノ爲御訪日遊
ハサルルヲ機トシ國體ヲ明徹シ特ニ其ノ根基トシテ日滿不可分關係
ヲ闡明シ以テ國家政教ノ源泉ヲ確立シ國家意識ノ向止ヲ關ル爲建國
神廟ヲ創建セラレ其ノ御祭神ニハ滿洲建國ノ本義ニ鑑ミ 天照大神

CH 本標準規格



9220-1

183

外務省

I-0520

0193

ヲ建國ノ元神ト崇メ奉祀セラレ又建國神廟ノ攝廟ニ建國ノ聖業ニ殉
シタル者ノ靈位ヲ祀ルノ御意ヲ拜シ候ヲ以テ茲ニ本大臣ハ右思召ヲ
閣下ニ傳達致候

尙政府ニ於テハ右建國神廟及其ノ攝廟御創建ノ思召ヲ奉シ擬テ別記
要領ニ依リ之カ籌備ニ萬遺漏無キヲ期シ居候モ事極メテ重大ナル爲
籌備上諸般ノ事項ニ關シテハ特ニ御高配ヲ待遇及御依頼候
右申進旁本大臣ハ茲ニ重ネテ閣下ニ向テ敬意ヲ表シ候

敬具

外務省

CH 本標準規格 B



9220-1

184

I-0520

0194

記

要領

- (一) 建國神廟ニハ建國ノ元神ト崇メ奉リテ天照大神ヲ奉祀シ差當リ帝宮内ニ奉安ス
將來新京附近ニ適當ナル土地ヲ相シテ奉遷ス
- (二) 建國神廟ノ攝廟ハ建國忠靈廟ト稱ス
建國忠靈廟ニハ建國ノ聖業ニ殉シタル者ノ靈位ヲ奉祀シ新京南嶺ニ於ケル廟屋ニ奉安ス
- (三) 建國神廟祭祀令及建國忠靈廟祭祀令ヲ制定ス
- (四) 建國神廟及其ノ攝廟タル建國忠靈廟ニ關スル事項ヲ管掌スル爲官制ヲ以テ祭祀府ヲ設置ス

外務省

日本標準規格 B



9220-1

185

祭祀府ハ皇帝ニ直屬ス但シ事務的便宜上、人事、豫算及營繕等ニ關シテハ國務院（總務廳）ト一部聯關ヲ有セシムルモノトス
祭祀ハ國務ノ外ニ獨立シ祭祀府總裁勅旨ヲ承ケテ之ヲ行フ即チ總裁ハ常置承祭官タリ

祭祀府ハ將來地方ニ建國忠靈廟ノ分廟設置ノ場合其ノ管轄ヲモ豫想ス

(五) 建國神廟鎮座祭式典ハ康德七年七月十五日

皇帝陛下御親祭ニ依リ執リ行ハセラレ

建國忠靈廟鎮座祭式典ハ康德七年九月十九日舉行セラレ

皇帝陛下御親拜遊ハサルル御豫定ナリ

備考

外務省

日本標準規格 B



9220-1

186

I-0520

0195

機密

機密第四八三號

昭和十五年六月二十八日

内閣總理大臣 米内光政

外務大臣 有田八郎

内務大臣 兒玉秀雄

陸軍大臣 畑俊六

内閣總理大臣 米内光政殿

外務省

日本標準規格 B5



9220-1 188

建國神廟ノ祭祀ハ 天照大神ヲ滿洲建國ノ元神ト崇メ奉祀スル
モノナルハ滿洲帝國ノ祭祀ニシテ日本帝國ノ神社行政ノ範圍ニ
屬セサルモノトス同様ノ趣旨ニヨリ其ノ攝廟タル建國忠靈廟ニ
於ケル殉國ノ靈位ノ奉祀ハ日本側ノ神社行政及忠靈顯彰事業ト
ハ別個ノモノトス

以上

外務省

日本標準規格 B5



9220-1 187

I-0520

0:19:05

滿洲國建國神廟創建ニ關シテ閣議取銷ノ件

本件ニ關シ別紙案ノ通閣議決定相成様致度此段及請議候也

外務省

日本標準規格B



9220-1 189

案

別紙滿洲國駐館梅津大使來信寫ノ通 滿洲國皇帝陛下ニハ建國神廟ヲ創建セラレ其ノ御祭神ニハ滿洲國建國ノ本義ニ鑑ミ天照大神ヲ建國ノ元神ト崇メ奉祀セラレ又其ノ攝廟トシテ建國忠靈廟ヲ創建セラレル尙召ナル趣ヲ以テ滿洲國政府ニ於テハ總備上諸般ノ事項ニ關シ特ニ我方ノ配慮ヲ求メ來レル處本件ハ事極メテ重大ニシテ之カ總備ノ如何等ハ帝國ニ影響スル所尠カラサルモノアリト認メラルルニ付關係各省ニ於テ十分研究ノ上萬遺憾ナキ様措置スルロトト致度シ

外務省

日本標準規格B



9220-1 190

I-0520

0190

昭和十五年六月二十一日

在 滿

特命全權大使 梅 津 美治郎

外務大臣 有 田 八 郎 殿

建國神廟御創建ニ關スル件

本件ニ關シ六月二十一日附張國務總理發本使宛公文寫及總務廳作成
本件要綱別添送付ス要細右ニ依リ御了知ノ上可然御取計相成度此段
申進ス

外 務 省

日本標準規格B



9220-1

191

外文祕第一八七號

康徳七年六月二十一日

滿洲帝國

國務總理大臣 張 景 惠

滿洲帝國駐館

大日本帝國特命全權大使 梅 津 美治郎 閣下

以書翰啓上致候陳者

皇帝陛下ニ於カセラレテハ今次皇紀二千六百年御慶祝ノ爲御訪日遊
ハツルルヲ機トシ國體ヲ明徴シ特ニ其ノ根基トシテ日滿不可分關係
ヲ闡明シ以テ國家政教ノ源泉ヲ確立シ國家意識ノ向上ヲ圖ル爲建國
神廟ヲ創建セラレ其ノ御祭神ニハ滿洲建國ノ本義ニ鑑ミ
天照大神ヲ建國ノ元神ト崇メ奉祀セラレ又建國神廟ノ攝廟ニ建國ノ
聖業ニ殉シタル者ノ靈位ヲ祀ルノ御意ヲ拜シ候ヲ以テ本大臣ハ右思
茲ニ

外 務 省

日本標準規格



9220-1

192

I-0520

0:48

召ヲ閣下ニ傳達致候
尙政府ニ於テハ右建廟神廟及其ノ攝廟御創建ノ思召ヲ奉シ概ホ別記
要綱ニ依リ之カ雜備ニ萬遺漏無キヲ期シ居候モ事無メテ重大ナル爲
總備上諸般ノ事項ニ關シテハ特ニ御高配ヲ得度及御依頼候
右申進旁本大臣ハ茲ニ重ネテ閣下ニ向テ敬意ヲ表シ候 敬具

外
務
省

CI 本標準規格



9220-1

193

I-0520

0:59

要
領
記

- (一) 建國神廟ニハ建國ノ元神ト崇メ奉リテ
天照大神ヲ奉祀シ適當リ帝宮内ニ奉安ス
將來新京附近ニ適當ナル土地ヲ相シテ奉遷ス
- (二) 建國神廟ノ新廟ハ建國忠靈廟ト稱ス
建國忠靈廟ニハ建國ノ聖業ニ殉シタル者ノ靈位ヲ奉祀シ新京南
嶺ニ於ケル廟屋ニ奉安ス
- (三) 建國神廟奉祀令及建國忠靈奉祀令ヲ制定ス
- (四) 建國神廟及其ノ新廟タル建國忠靈廟ニ關スル事項ヲ管掌スル爲
官制ヲ以テ祭祀府ヲ設置ス
- 祭祀府ハ皇帝ニ直屬ス但シ事務的便宜上、人事、預算及管掌等
ニ關シテハ國務院(總務廳)ト一部聯關ヲ有セシムルモノトス
- 祭祀ハ國務ノ外ニ獨立シ祭祀府總裁助旨ヲ承ケテ之ヲ行フ即チ

外務省

日本標準規格 S 9220-1 194

總裁ハ常置奉祭官タリ
祭祀府ハ將來地方ニ建國忠靈廟ノ分廟設置ノ場合其ノ管轄ヲモ
豫想ス

(四) 建國神廟鎮座祭式典ハ康徳七年七月十五日

皇帝陛下御親祭ニ依リ執り行ハセラル

建國忠靈廟鎮座祭式典ハ康徳七年九月十九日舉行セラレ

皇帝陛下御親拜遊ハサルル御豫定ナリ

備
考

建國神廟ノ祭祀ハ天照大神ヲ滿洲建國ノ元神ト崇メ奉祀スル
モノナレハ滿洲帝國ノ祭祀ニシテ日本帝國ノ神社行政ノ範圍ニ
屬セサルモノトス同様ノ趣旨ニヨリ其ノ新廟タル建國忠靈廟ニ
於ケル殉國ノ靈位ノ奉祀ハ日本側ノ神社行政及忠靈顯彰事業ト
ハ別個ノモノトス

(總務廳作成本件要綱省略)

以
上

外務省

日本標準規格 S 9220-1 195

I-0520

0200

寫

内閣外甲第五五號

昭和十五年六月二十九日

内閣總理大臣 米内光政

内閣總理大臣 米内光政

外務大臣 有田八郎

内務大臣 伯爵 兒玉秀雄

陸軍大臣 畑俊六

指令

昭和十五年六月二十八日機密第四八三號
滿洲國建國神廟創建ニ關スル件請議ノ通

外務省

日本標準規格



9220-1

196

I-0520

0201

(四) 高多丸
六二二

電 信 案

外 務 省

夕日旨請ケ書ヲ發送ニ道カニ標致度シ
尚幸休ニ因テハ内閣總理大臣奉大臣内務
及陸軍各大臣ヨリ連名ヲ別覆第三三〇号
一内閣議決後ノ結果云月二十九日迄ノ通快
定ヲ見タリ、其後貴大使限リ尚存也

S 9220-1 198

(分類)

大 有

第三三九

電 信 案

昭 和 十 五 年 六 月 廿 九 日 起 草

電 信 課 長 決

主任

發 電 係

1 39

時	電 送 第 21395 號	主 管
半 略 和	年、月、日 時、分	機 長 決
件 名	在 滿 梅 津 大 使	主 任
件 宛	滿 洲 國 建 國 神 廟、件	發
第 三 二 九 號	記 錄 件 名	有 田 大 臣
(至 名)		

六月二十日附貴信公機密第七二六號ニ因シ
同日附貴大使宛國務總理未翰ニ對シテ
ハ同未翰中載、語ハ在國政府ニ傳達シ置キ

未夕措置等ニテ九月廿九日

CH 本 標 準 規 格 B 5 S 9220-1 197

I-0520



(2) 別電

電信課長
主任
發電係

昭和十一年六月廿九日起草

1 40

(分類)

電 信 案	電送第 21396 號	主管 鐵道部
外 務 省	附 和 五 年 七 月 一 日 發 行 時 分 發	主任
	件 名	宛
	滿洲國建國神廟	在 梅 津 大 使
	第 三 三 〇 號	發 有 田 大 臣
	記 録 件 名	
	別紙 滿洲國駐劄梅津大使來信字ノ通 滿洲國 皇帝陛下ニ建國神廟ヲ創建セラルル其ノ節祭神ニ滿 洲國建國ノ本義ニ鑑ミ天照大神ヲ建國ノ元神ト崇	

日本標準規格 B5



9220-1 199

(原議用紙乙)

電 信 案

外 務 省

致 度 シ

ニ於テ十分研究ノ上萬遺憾ナキ様措置置スルコトト

影響音スル所鈔カラサルモノアリト認メラルルニ付關係各省

本件ハ事極メテ重大ニシテ之カ籌備ノ如何等ハ帝國ニ

上諸般ノ事項ニ関シ特ニ我方ノ配慮ヲ求メ来レル處

セウルル思^ヒ事ナル趣ヲ以テ滿洲國政府ニ於テハ籌備

々奉祀セラル又其攝廟トシテ建國忠靈廟ヲ創建



9220-1 200

I-0520

0203

公 信 案

外 務 省

梅津大使来信 公機密 七六九附 附席 共 呈 係 付

日本標準規格 B5 9220-1 204

發信用 執務用

主	信			
附	甲			
屬	乙			
	丙			
	丁			
備	考			

東亞局長
第一局長
中川

(内閣総務省)
三務局長
合(之)

文書課發送日 昭和十五年七月拾壹日發送済

主 任 主 任
機密 合第三六一號 昭昭和拾五年七月拾日 日附 附屬

正校(原稿) (淨書)
昭和十五年七月九日起草

別紙

先付送寫 名人信受
米内内閣總理大臣
畑 陸軍大臣
白根 宮内大臣
荒川 對滿事務局長

名人信發
有 田 大臣
谷 次 官

名件錄記
満洲國建國神皇朝 創建ニ関スル件

本件ニ関シ在滿梅津大使ヨリ別紙寫一通報告アリタルニ付 申付有連 加送ニ送付ス (申送書也) (内閣総務省)

外 務 省

日本標準規格 9220-1 203

I-0520



儀典課長

田園、陸成市ノ家
字ノ...

別紙添附

儀典
15.7.8

文書
15.7.8

受取

航空

内閣外四石

公機密第七六九號

昭和十五年七月三日

在滿

特命全權大使 梅津 美治郎

外務大臣 有田 八郎 殿

滿洲建國神廟御創建ニ關スル件

本件ニ關シ滿洲國政府ヨリ申越アリタル次第ハ既報ノ通ナルカ七月二日日本使ヨリ張國務總理大臣ニ對シ不取敢別添ノ通先方申越ノ趣ハ本國政府ニ傳達シ置タル旨ノ公文ヲ發送シ置タルニ付御了知相成度此段申進ス



在滿日本帝國大使館

(14.5.00.000)

9220-1 205

寫

公文機密第九七號

昭和十五年七月二日

滿洲帝國駐節

大日本帝國特命全權大使 梅津 美治郎

滿洲帝國

國務總理大臣 張景惠 閣下

以警翰啓上致俄陳者六月二十一日附外交秘第一八七號發翰ヲ以テ貴國 皇帝陛下ニ於カセラレテハ今次御訪日ヲ機トシ建國神廟ヲ創建セラレ其ノ御統神ニハ滿洲建國ノ本義ニ鑑ミ 天照大神ヲ建國ノ元神ト爲メ奉祀セシメ又建國神廟ノ攝廟ニ建國ノ聖業ニ殉シタル者ノ靈位ヲ祀ルノ御意ヲ拜セラレタル趣ヲ以テ右思召ヲ御傳達越相成ト共ニ籌備上諸般ノ事項ニ關シ配慮ヲ得度旨御申越相成

在滿日本帝國大使館

(14.5.00.000)

9220-1 206

I-0520

0206

敬承致候

右御申越ノ次第ハ早速本國政府ニ傳達致置タルニ付御了知相成度
此段申進旁本使ハ茲ニ重テ閣下ニ向テ敬意ヲ表シ候 敬具

在滿日本帝國大使館

S 9220-1 207

次

秘

第二課

第三課

寫

關參滿電第六五七號

大臣宛 發信者 關東軍司令官

電報

七月十五日 一五時四五分發 一六時三五分著

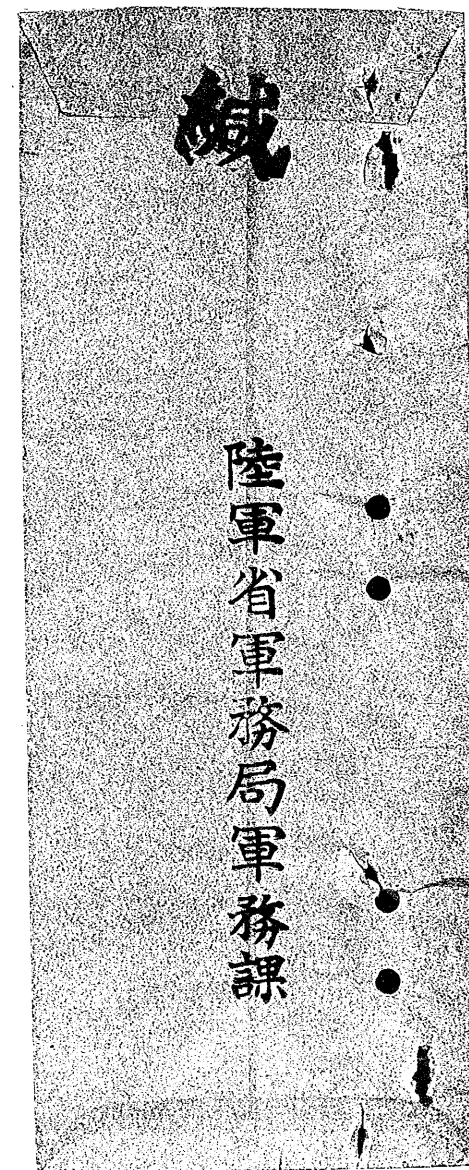
陸軍

滿洲國皇帝陛下ニハ本十五日早曉宮廷内ニ於テ建國神廟鎮座祭ノ儀
ヲ行ハセラルレ御儀式ハ森嚴莊重ヲ極メ茲ニ滞ナク式典ヲ終ラセラル
又先帝十一時建國神廟創建ニ關スル詔書煥發セラレ是ニ日滿兩國ノ
關係ハ悠久不變ニ確立セラレタルハ御同慶ニ堪ヘサル所ナリ本件ニ
關スル貴方從來ノ御高配ニ對シ深甚ナル謝意ヲ表ス
尙宮内省、海軍省等關係方面ニ然ルヘク御傳ヘテ乞フ

(終)

S 9220-1 208

I-0520



I-0520



外務省
侯爵深長
殿
秘

I-0520

0209

西	2
東	1
南	3
北	0
中	2-6

分類 I 2.2.0.1

滿洲國皇帝陛下御親電

本月十五日午前二時三十分恭シク鎮座祭ヲ舉行シ天照大神奉祀ノ義ヲ完了ス

茲ニ謹シミテ 天皇陛下ノ御安泰ト國運ノ隆昌トヲ祈ル

東京宮内省
天皇陛下下

昭和十五年七月十五日 午後五時二十七分
午後六時二十七分
新京宮内省内局着

外務省

CI 本標準規格



9220-1

210

寫送先

大臣 次官
東亞 歐亞 米洲 通商 條約 情報 文書 調查 儀典 文書 會計 祕書官

電信課長

分類 I 2.2.0.1

昭和15 五六一〇五 略 新京 七月十五日 後發 本省 十五日 後着 驛

有田外務大臣
第二九三號

滿洲國建國神廟ニ關シテハ既ニ報告ニ及ヒ置キタル處滿洲國皇帝陛下ニバ十五日早曉宮廷内ニ於テ神廟鎮座祭ノ儀ヲ行ハセラレ莊嚴裡ニ完了セリ亦同日建國神廟創建ニ關スル詔書ヲ煥發セラレタリ

(了)

梅津大使

外務省



9220-1

209

件 各口神領及寺院于係件

I-0520

02 10

寫送先

秘書官 會計 文書 儀典 人典 調查 文書 情報 條約 通商 米亞 歐亞 東亞

大臣 次官



電信課長

12701

昭和 15 五六一八九 略 新京 七月十八日 後發 儀、亞
 本省 十八日夜着

有田外務大臣 梅津大使

第三九四號

往電第二九三號ニ關シ

滿洲國皇帝陛下ニ於セラレテハ我 天皇陛下ニ對シ奉リ左ノ通り御
 親電ヲ發セラレタル旨宮内府側ヨリ通牒アリタリ

(御親電文)

東京宮内省

天皇陛下

七月十五日午前二時三十分恭シク鎮座祭ヲ舉行シ

外務省



9220-1

212



名作 名作 神福及寺院 聚席

外務省

滿洲國皇帝陛下

滿洲國皇帝陛下へ御答電

建國神廟ヲ創建セラレタル趣慶祝ニ勝ヘス

茲ニ謹ミテ 陛下ノ福祉ヲ祝シ併セテ國運ノ隆昌ヲ祈ル

昭和十五年七月十六日

御

名

CH 未標準規格 B



9220-1

211

I-0520

02:11

分類 I22.01

CP

情報部

第二課長

東亞局長

第二課長

第三課長

2

天照大神奉祀
天皇陛下ノ御安泰ト國運ノ隆昌ヲ祈ル
御名

(了)

外務省

件名 各口神社の寺院子孫推挙

別紙添附

公普通第八四八號

昭和十五年七月十九日

在 滿

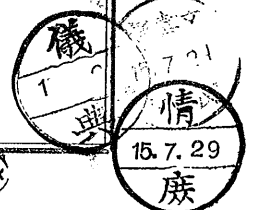
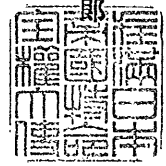
特命全權大使 梅津

美治郎

外務大臣 有田 八郎 殿

健國神廟鎮座祭ニ關スル新聞記事送付方ノ件

本月十五日執行セラレタル健國神廟鎮座祭ニ關シテハ既ニ電報濟
處別添新聞記事御参考迄送付ス



在滿日本帝國大使館

(14.5.60.000)

9220-1

214



9220-1

213

I-0520

02 12

建國神廟創建訓示
けふ諸官を國務院に集め
祭祀府開廳式
市民の慈父
たゞ報恩の一念
語る大阪の北島氏

建國神廟創建訓示

けふ諸官を國務院に集め

祭祀府開廳式

祭祀府人事

皇陛下は建國神廟創建に際して、
諸官を國務院に集め、訓示をなされ、
建國神廟の創建は、國家の根本であること、
祭祀府の設置は、國家の祭祀を掌ることに
關するものであること、
祭祀府の組織及び職掌は、
祭祀府官制に規定するものとする。
祭祀府の設置は、
大正十四年十月一日から
開始するものとする。

祭祀府長官 大正十四年十月一日
祭祀府副長官 大正十四年十月一日
祭祀府顧問官 大正十四年十月一日
祭祀府書記官 大正十四年十月一日
祭祀府庶務官 大正十四年十月一日
祭祀府庶務員 大正十四年十月一日

佳日に善行の譽れ

貞節の四十年

安東の節婦 洪氏の感激

安東の節婦 洪氏の感激
十年の節婦 洪氏の感激
安東の節婦 洪氏の感激
安東の節婦 洪氏の感激
安東の節婦 洪氏の感激
安東の節婦 洪氏の感激
安東の節婦 洪氏の感激
安東の節婦 洪氏の感激
安東の節婦 洪氏の感激
安東の節婦 洪氏の感激

市民の慈父 哈爾濱の幸氏
たゞ報恩の一念 語る大阪の北島氏
不肖は、
不肖は、
不肖は、
不肖は、
不肖は、
不肖は、
不肖は、
不肖は、
不肖は、
不肖は、

大詔の聖旨を奉體 建國の本義を顯揚

建國神廟御創建 張總理訓示

建國神廟御創建 張總理訓示
建國神廟の創建は、
建國神廟の創建は、
建國神廟の創建は、
建國神廟の創建は、
建國神廟の創建は、
建國神廟の創建は、
建國神廟の創建は、
建國神廟の創建は、
建國神廟の創建は、
建國神廟の創建は、

張國務總理訓示

張國務總理訓示
張國務總理訓示
張國務總理訓示
張國務總理訓示
張國務總理訓示
張國務總理訓示
張國務總理訓示
張國務總理訓示
張國務總理訓示
張國務總理訓示

在滿日本帝國大使館

S 9220-1 216

S 9220-1 215

I-0520

臨時政府の御親授
臨時政府の御親授
臨時政府の御親授

御親授

臨時政府の御親授
臨時政府の御親授
臨時政府の御親授



臨時政府の御親授
臨時政府の御親授
臨時政府の御親授

政府発表

臨時政府の御親授
臨時政府の御親授
臨時政府の御親授

張總理奉答文

臨時政府の御親授
臨時政府の御親授
臨時政府の御親授

祭祀府官制公布

臨時政府の御親授
臨時政府の御親授
臨時政府の御親授

祭祀府正副總裁

臨時政府の御親授
臨時政府の御親授
臨時政府の御親授

詔書ノ讀方

臨時政府の御親授
臨時政府の御親授
臨時政府の御親授

國務院布告

臨時政府の御親授
臨時政府の御親授
臨時政府の御親授

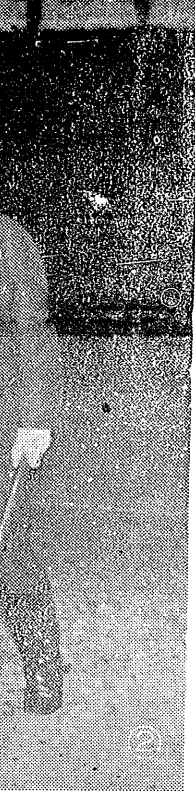
神廟・忠靈廟祭祀令

臨時政府の御親授
臨時政府の御親授
臨時政府の御親授

帝旨に副はん

臨時政府の御親授
臨時政府の御親授
臨時政府の御親授

臨時政府の御親授
臨時政府の御親授
臨時政府の御親授



建國神廟鎮座祭

建國神廟全景の鎮座式を終へ退下する梅津
關東軍司令官の曙閣に篝火映ゆる二廟の参列
の特任官二檢閱

天心好生の徳に 奉副を期せよ

國務院布告を發す

政府は十日前の勅諭に
應じ、天心好生の徳に奉副
せんことを期すべく、左の如
き國務院布告を發す。

國務院布告第十號

奉副せられたる者は、依
るべきに依り休職たりたる者
は、勅諭第九號第一項第三
項に依り休職を命ぜられたる
ものを除き、

聖澤・囹圄に治し

宸恩に奉謝せよ



聖澤の徳を以て、
囹圄に治し、
宸恩に奉謝せよ。

國務院は、
奉副せられたる者は、依
るべきに依り休職たりたる者
は、勅諭第九號第一項第三
項に依り休職を命ぜられたる
ものを除き、

閩興邊區級靖

閩興邊區級靖
閩興邊區級靖

富州を爆碎

富州を爆碎
富州を爆碎

張總理

張總理
張總理

香港逃避難民 厦門に流入

香港逃避難民
厦門に流入

民政有、代議士會 町田總裁に進行

民政有、代議士會
町田總裁に進行

第二回日滿文 連絡運輸會議

第二回日滿文
連絡運輸會議

西園經濟代表一行

西園經濟代表一行
西園經濟代表一行

復權令

復權令
復權令

恩赦令改正の件

恩赦令改正の件
恩赦令改正の件

官吏及び待遇官 の懲戒免除に 關する件

官吏及び待遇官
の懲戒免除に
關する件

減刑復權令の内容

減刑復權令の内容
減刑復權令の内容

全日滿に放送

全日滿に放送
全日滿に放送

總數十五萬一千

總數十五萬一千
總數十五萬一千

復權令

復權令
復權令

恩赦令改正の件

恩赦令改正の件
恩赦令改正の件

官吏及び待遇官 の懲戒免除に 關する件

官吏及び待遇官
の懲戒免除に
關する件

減刑復權令の内容

減刑復權令の内容
減刑復權令の内容

全日滿に放送

全日滿に放送
全日滿に放送

總數十五萬一千

總數十五萬一千
總數十五萬一千

復權令

復權令
復權令

恩赦令改正の件

恩赦令改正の件
恩赦令改正の件

官吏及び待遇官 の懲戒免除に 關する件

官吏及び待遇官
の懲戒免除に
關する件

満洲日報新聞... 若素... (Newspaper masthead and advertisement)

建國神廟鎮座の御儀

皇帝陛下御躬ら奉齋

太古宛ら森殿の極

皇陛下は... 奉齋の御儀... 太古宛ら森殿の極... (Main article text)

盛典の感激語る参列の顯官

康徳七年七月十五日、今日を迎へる天照大神永遠に淨域に鎮座在します聖なる朝... (Article text)

惟神の道茲に徹底

神徳の加護により東亞建設に貢献 橋本祭祀府總裁謹話



満洲國の將來を表徴 星野總務長官謹話... (Articles by Miyano Tetsuzo and Hoshino Tetsuzo)

新豊制研究會 愈よ創立さる... (New organization advertisement)

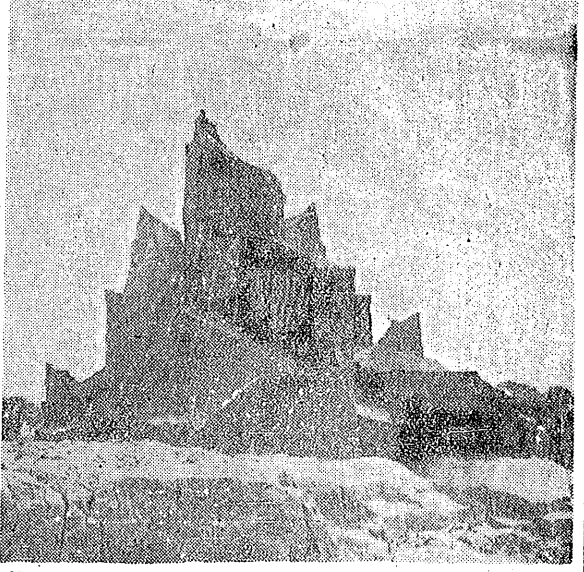
八束祭祀府祭務處長謹話... 一徳一心の完成... (Articles by Yatsuji and others)

神代にある思ひ 八紘一字の顯現 井上大同學院院長謹話... (Articles by Inoue and others)

只・感激あるのみ 大津關東局長談... 支那方面艦隊 報道部公表... (Articles by Tamaki and others)

盛京號事件圓滿解決 英、我方の要求を容れ... (Main article about the Shengjing case)

I-0520



坊やのお伽の國 猿ヶ島竣工

十月までには開場... 猿ヶ島竣工のニュース記事。開場予定が十月までと発表されたこと、建設の進捗状況、そして完成後の展望について詳しく説明している。

帝恩の鴻大無邊に感泣

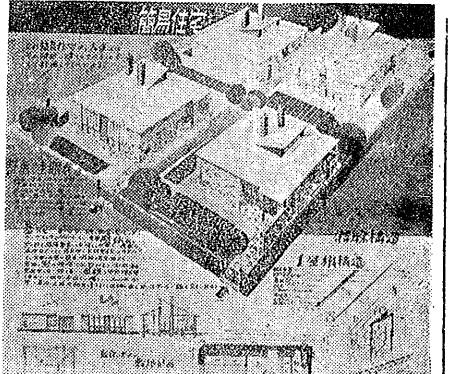
建國廟鎮座祭の佳日 善行者に榮の表彰

北島安太郎氏ら百九十九名

北島安太郎氏ら百九十九名の善行者に表彰の記事。建國廟鎮座祭の佳日であり、善行者の功績を称える内容。北島安太郎氏をはじめとする多くの善行者の名前が挙げられている。



善行者の表彰状... 北島安太郎氏ら百九十九名の善行者に表彰状が贈られた。各善行者の名前と表彰の理由が記載されている。



いままじの工夫で折紙... 折紙の工夫に関する記事。折紙の歴史や最新の工夫、そして折紙がもたらす楽しさや教育的価値について述べている。

無言の凱旋... 無言の凱旋に関する記事。特定の人物や団体の凱旋について、その経緯や意義を詳しく説明している。

電撃戦の華飛行機... ドイツから國枝氏の土産話... 電撃戦の華飛行機に関する記事。ドイツからの土産話として、飛行機に関するエピソードや技術の進歩について述べている。

満洲場所... 三日目取組... 満洲場所に関する記事。三日目の取組の模様や、場所の雰囲気、観客の反応などを詳しく紹介している。

聖嶽の乙女ら... 颯爽と奉天を行進... 聖嶽の乙女らに関する記事。乙女らの奉天行進の様子が詳しく描写されている。

颯爽と奉天を行進... 颯爽と奉天を行進に関する記事。奉天行進の経緯や参加者の様子、そしてその意義について述べている。

バス乗車前に切符を發賣... 新交通が足の評定... バス乗車前に切符を發賣に関する記事。新交通の足評定やバス乗車の手続きについて説明している。

日本女アナウンサー募集... ウンサー募集... 日本女アナウンサー募集に関する広告。放送局やメディア関係者への募集要項が記載されている。

衛生奉仕隊... 國都入り... 衛生奉仕隊に関する記事。國都入りや衛生奉仕の活動について詳しく説明している。

常習便秘... 食慾不振... 常習便秘に関する記事。便秘の症状や原因、そして効果的な治療法や予防法について述べている。

照合票

優待券第 四三六 號

記録
件名

昭和十五年七月三日

發信者 外務大臣

受信者 在滿梅津大使

件名 滿洲國皇帝陛下に御親電

交換の由の件

原書ハ左記ニ在リ

記

分類 2,2,0,1

2門ノ類ノ項ノ目 2ノ號

各國之並皇族に對部
滿洲國部



9220-1

217

I-0520

0222

電信課長

大臣

次官

東亞 歐洲 米商 通商 條約 情報 文書 調查 人事 儀典 文書 會計 秘書官

寫送先

分類 1220

昭和15 五七七〇〇 略

新京 九月十一日後發
本省 十一日夜着

亞

松岡外務大臣

梅津大使

第三九〇號ノ一(至急)

滿洲國政府ニ於テハ來ル十八日ヨリ三日間ニ直リ建國忠靈廟鎮座
祭竝ニ大祭ヲ舉行右忠靈廟ニ奉祀セラルヘキ滿洲事變以來ノ殉國
日滿軍警在日本遺族代表トシテ左記ノ者ヲ招待參列セシムルコト
トシタル趣ヲ以テ右遺族代表ニ對シ内地及朝鮮鐵道無賃乘車證發
給方取計ハレタキ旨依頼越シタル處日モ切迫シ居ルニ付至急關係
當局ニ御交渉ノ上乘車證ハ直接遺族代表者ニ送付相成様御取計相
成度シ

記

- 一、故陸軍少將阿部 カツミ 妻、神戸市灘區 タカハナトキワ 町三一、阿部菊枝
- 二、故陸軍歩兵大佐近澤 ヨシミ 妻、廣島市幟町七五、近澤トキ
- 三、故陸軍歩兵大尉春田 一郎 妻、廣島縣福山市御門町一六六六、春田スナヨ

(續ク)

2

外務省

9220-1

219

外務省

9220-1

218

記録名 各國神祠及寺院千俣雜件

I-0520

0223

電信課長

大臣

次官

東亞 歐亞 米洲 通商 條約 情報 文書 調查 儀典 文書 會計 秘書官 寫送先

昭和15 五七六九〇 略

新京 九月十一日後發
本省 十一日夜着

亞

松岡外務大臣

梅津大使

第三九〇號ノ二(至急)

四故陸軍工兵曹長河本トシヲ父、門司市大里町一一三四、河本龜太郎

五故陸軍歩兵上等兵藤本マヌ太郎父、慶尙南道釜山府西町三八、藤本孫太郎

六故陸軍歩兵伍長西村タダタカ父母、鳥取縣西伯郡境町中町九、西村チヨウ太郎及同ハルノ

七故陸軍少將森ヒデキ妻、熊本縣葦北郡佐敷町大字花岡八八一、

森シズエ

八故陸軍歩兵少校ニシイシロウ父、滋賀縣野洲郡守山町立入九八ニシイヤイチ

九故陸軍騎兵上尉畠山ハン一兄、京都市伏見區兩替町二丁目三六七、畠山キユウ太郎

十故陸軍輜重兵士ヤマノヘトク父、鹿兒島縣出水郡出水町スズノヤマノヘ次郎衛門

十一故吉林省理事官ニシセトヒデヲ妻、鹿兒島市草牟田町四一九一ニシセトアキ子(續ク)

外務省

9220-1 220

2

外務省

9220-1 221

I-0520

電信課長

大臣

次官

東亞 歐亞 米洲 通商 條約 情報 文書 調查 儀典 文書 會計 會社 秘書官

寫送先

昭和15 五七六九三 略

新東京 九月十一日 後發
本省 十一日 夜着

亞

松岡外務大臣

梅津大使

第三九〇號ノ三(至急)

十三故鳳城縣警務指揮官白井シゲアキ 兄香川縣三豐郡比地二村大字比地二五八白井成敬

十三故撫松縣警務高岡シヨウ 之助母山形縣西村山郡西村山村大字

澤一〇四〇高岡ムラノ

十四故陸軍歩兵小校日下シゲヲ 父クラシキンオキ 四二九日下兼松

十五故安圖縣警務長徳武マサタツ 妻長野縣上水内郡柵村大字柝原八

六一七徳武秀寅

外務省

9220-1 222

2

十六故滿洲採金株式會社技師飯岡リク 妻東京市目黒區上目黒五ノ

二三九六 トウミネ 榮方飯岡カツ

十七故緩化鐵道警務隊長岩丸グン 三郎 妻福岡縣小倉市浦生八八六

岩丸セン

十八故軍事指導員澁江常盤父長崎縣南高來郡島原町澁江盤根

(了)

外務省

S 9220-1 223

I-0520

0225

外務省

九月二十日 謝神ノ儀
午前
(了)

9220-1

225

大臣
次官
東亞
歐亞
米洲
通商
條約
情報
文書
調查
人典
儀典
文書
會計
會計
秘書
官

電信課長

松岡外務大臣

分類 12.2.0.1

老總内侍

外務省

昭和15 五七七九〇 略 新京 九月十六日 後發 本省 十六日 後着 亞
松岡外務大臣 梅津大使
第三九九號
滿洲國皇帝陛下ニ於カセラレテハ建國神廟ノ攝廟トシテ今般建國
忠魂廟ヲ御創建遊ハサレ日滿軍警其ノ他建國ノ聖業ニ殉シタル英
靈ヲ奉祀セラルルコトト相成リ左記ニ依リ其ノ鎮座祭ヲ執行セラ
ルルコトト相成リタル趣ヲ以テ右帝國政府ニ傳達方張國務總理大
臣ヨリ申越シタリ
九月十八日 鎮座ノ儀 夜
九月十九日 親拜ノ儀 午前

9220-1

224

記録件名 外務省神廟及奉祀會傳雜件

本館に於て、
建の建廟創
建、適合ト同

東亞局長
第二課長

發信用執務用	
主信	
附甲	
附乙	
附丙	
附丁	
備考	2201

文書課長

文書課發送日 昭和拾五年九月拾八日發送濟

淨書 (精製) 正校 (原稿) 本林 (淨書)

別紙

主 儀典課長

任主

儀典課長 昭和拾五年九月拾八日附

附屬

昭和十五年九月十八日起草

受 近衛 陸軍大臣
信 松岡 大 臣
人 東條 陸軍大臣
名 白根 陸軍大臣
先付送寫 荒川 陸軍大臣

發 松岡 大 臣
信 大橋 次官心得
名 入

件 名 滿洲國建國忠魂廟創建、關之件

本件、關之在滿梅津大使より別紙爲、通電報

公 信 案 (内、陸、對、外、二) 有之候條、此段申進候也
(梅津大使來電、爲、別紙、添付、答、上) 務 省

S 9220-1 226 18 149

I-0520

文書課長

文書課發送日 昭和十五年九月拾八日發送済
淨書 正校(原稿) 森 (淨書)
昭和十五年九月十八日起草
19片

別紙

主 管 文書課長 森
任 主 昭和十五年九月十八日起草
普通令 第四一七號 昭和十五年九月拾八日附 附屬

郵政省 文書課

受 信 人 近衛 總理大臣
松岡 大臣
白根 陸軍大臣
大橋 陸軍大臣
記 録 名 件 大橋 陸軍大臣

先付送寫 名 件 滿洲國建國忠魂廟創建ノ件

本件、関シ在滿相津大使ヨリ別紙爲、通電報

内閣省(中)有之候條此段申進候也

公 信 案 (内閣省) (格洋下便東電多取? 深(付空上) 務 省

發信用執務用
主 信 甲 乙 丙 丁 備考
2.2.1

9220-1 226 18 149

I-0520

0228

電信寫

（原） 三 七七九〇 （略） 東京 九月十六日午後
本省 十六日午後 （電）

松岡外務大臣 梅澤大使

（三） 三 九九〇

海濱皇帝陛下ニ於カセラレテハ、建國神廟ノ攝廟トシテ今般建國
忠誠高ク御刺殺遊ハサレ日滿軍警其ノ他建國ノ聖業ニ殉シタル英
皇ヲ奉祀セラルルゴトト相成リ左記ニ依リ其ノ聖座祭ヲ執行セラ
ルルゴトト相成リタル趣ヲ以テ右添函政府ニ傳達方張國務總理大
臣ヨリ申渡シタリ

九月十八日 嶺南ノ後 夜

九月十九日 親拜ノ後 午前

九月二十日 歸神ノ後 午後

S 9220-1 228

S 9220-1 227

I-0520



東亞經濟懇談會

ソレゾレ伺候御挨拶申上度候間何分共宜敷御手配方御取計被下
 度此段願上候

敬具



9220-1

230

東亞經濟懇談會

東亞大發第九七號
 昭和十五年十一月十二日

社団法人東亞經濟懇談會
 會長 男爵 郷 誠 之

外務省儀典課長 木 内 良 胤 殿

謹啓

陳者今般本會第二回總會ヲ來ル十一月二十五日ヨリ東京市帝國
 ホテルニ於テ開催致候

就而本總會ニ出席ノ爲來朝相成候滿洲國經濟部大臣蔡運升閣下
 ヲ初ノ別紙記載ノ滿華蒙各國官民代表者八名十一月二十三日午
 後一時四十分

天機奉伺記帳ノ爲宮中へ伺候致度

引續キ大宮御所、秩父宮家、閑院宮家、伏見宮家、高松宮家へ

三ノ宮家

東亞經濟懇談會
 會長 郷 誠 之



9220-1

229

I-0520

0230

東亞經濟懇談會

記

滿洲國政府代表	經濟部大臣	蔡運升
中華民國國民政府代表	鐵道部	傅式
華北政務委員會代表	建設總署督辦	殷同
蒙古聯合自治政府代表	財政部長	馬永魁
東亞經濟懇談會		
滿洲本部長		馮涵清
華北本部長		鄒泉蓀
華中本部長		陳紹媯
蒙疆本部長		寺崎英雄

S 9220-1 231

I-0520

0231

外務省
儀典課長 木内良胤殿
使送 ↓

I-0520

0232



昭和拾五年七月拾參日

法人 東亞經濟懇談會

東京市麹町區霞ヶ關三ノ一(舊貴族院内)
電話(銀座)六七二七—六七三九番

I-0520

0233